

# 第77回国民体育大会フェンシング競技について

1 競技運営方法は、「第77回国民体育大会フェンシング競技実施要項」による。

2 競技種別・種目及び参加人数

(1) 成年男子 監督兼選手1名 選手2名（フルーレ・サーブル）

(2) 成年女子 監督兼選手1名 選手2名（フルーレ・エペ）

※ 成年男子・女子の監督は、選手を兼ねる。

(3) 少年男子 監督1名 選手3名（フルーレ）

(4) 少年女子 監督1名 選手3名（フルーレ）

3 競技上の規則及び方法

(1) 競技規則は、F. I. E規則及び（公社）日本フェンシング協会の定める競技規則を準用する。

※ビデオ判定システムは準々決勝より導入する。

両チームの選手は1試合（5本勝負）につき、1回のビデオ判定の要請が許可される。

主審の判定で間違いが明らかになった場合、選手のビデオ判定の要請はカウントされない。

主審の判定が正しかった場合、判定の要請はカウントされ、その後、選手は要請出来なくなる。

(2) 試合方法は、各種目とも1チーム3名編成の紅白戦による団体戦とする。

(3) 成年男子については、1回戦及び2回戦は3チーム～4チームによるリーグ戦を行い、そのうち各プール上位2チームが2回戦及び3回戦に進出する。

成年女子については、1回戦は4～5チームによるリーグ戦を行い、そのうち各プール上位3チームが2回戦に進出する。2回戦は3チームによるリーグ戦を行い、そのうち各プール上位2チームが3回戦に進出する。

少年男子、少年女子については、1回戦及び2回戦は3チームによるリーグ戦を行い、そのうち各プール上位2チームが2回戦及び3回戦に進出する。

3回戦以降はトーナメント方式とし、1～8位決定戦を行う。

(4) 試合時間は、全種目3分間実働とする。

(5) 全種目5本勝負とし、片方の選手がトウシュを5本先取したとき、または、有効な試合時間が3分経過したときに終了する。その時点ではトウシュを多く取っている選手が勝者となる。記録は5本先取したとき、勝者にはV、敗者にはその時点での突数のみを記す。

※ 規定時間終了時に同点の場合は、次により勝者を決定する。

①アドヴァンテージ決定のための抽選の後、1分間を限度として1本勝負を行う。

この間に勝者が決定しない場合は、アドヴァンテージを有する選手が勝者となる。

記録は勝者にはVの後に同点時の突数を記し、敗者には同点時の突数のみを記す。

②1本勝負で勝者が決定した場合は、記録表に記入するスコアは、勝者にはVの後に同点時の突数に1本を加えた突数、敗者には同点時の突数を記す。

③エペにおいては、4-4からのクー・ドゥブル及び3分のタイムアップ後のクー・ドゥブルは記録しない。

(6) 同一プールにおける順位は、次の順序により決定される。

①チーム勝数の多い方を上位とする。

②チーム勝数が同一の場合は、個人勝数が多い方を上位とする。

③個人勝数も同一の場合は、そのチームの全部の突数（TD）と被突数（TR）から計算したTD-

TR指数が高い方を上位とする。

④TD-TR指数も同じ場合は、突数(TD)の多い方を上位とする。

⑤上記がすべて同じ場合は、その順位は同等とする。もし、団体間の差異が必要なら監督が指名した代表者1名によるバラージを行う。

(7) トーナメントの試合で、いずれか一方のチームが2勝したら試合を終了する。

(8) ベンチは、そのプールの中の若い番号のチームがプレジダンの右手側に位置する。トーナメントの場合は表の上側を若い番号とする。

(9) 各プール内の試合順序は、次のとおりとする。

\* 3チームのプール戦

第1試合 1-2

第2試合 第1試合の敗者-3

第3試合 第1試合の勝者-3

\* 4チームのプール戦

第1試合 1-4

第2試合 2-3

第3試合 第1試合の勝者-第2試合の敗者

第4試合 第1試合の敗者-第2試合の勝者

第5試合 2勝しているチームとそのチームの残り試合。または、2勝同士の試合。  
1勝1敗の場合は3試合の勝者の残り試合

第6試合 残りの試合

以上の順番で行い、失格決定チーム同士の試合は行わない。

\* 5チームのプール戦

第1試合 1-2

第2試合 3-4

第3試合 1-5

第4試合 2-3

第5試合 4-5

第6試合 1-3

第7試合 2-5

第8試合 1-4

第9試合 3-5

第10試合 2-4

5チームプールについては2つのピストを利用し、2試合同時に進行する。

※プール内の番号(NO.)はコンピューターの抽選により行う。

#### 4 組合せ決定方法

組合せの決定方法は、次に定めるところによる。なお、第1回戦の組合せ抽選は、公益財団法人日本スポーツ協会代表と(公社)日本フェンシング協会代表及び技術委員により、9月8日に行われた。

(1) 成年男子フルーレは、第74回競技会(水戸市)の第8位までの都道府県をシードとする。

(2) 成年男子サーブルは、第73回競技会(越前市)の第8位までの都道府県をシードとする。

(3) 成年女子フルーレ・少年男子・少年女子は、第74回競技会(水戸市)の第8位までの都道府県で今競技会に出場している上位6チームまでをシードとする。

ただし、第73回競技会（越前市）第8位までの都道府県で今競技会に出場しているチームが5チーム以下の場合、該当数までしかシードを行わない。

- (4) 成年女子エペは、第73回競技会（越前市）の第8位までの都道府県で今競技会に出場している上位6チームまでをシードとする。

ただし、第73回競技会（越前市）8位までの都道府県で今競技会に出場しているチームが5チーム以下の場合、該当数までしかシードを行わない。

- (5) 各種別各種目とも、第1回戦は同一ブロック内の対戦は行わない。  
(6) 上記以外は、無差別抽選とする。  
(7) 第2回戦については、第1回戦の成績に基づき、技術委員会において決定する。ただし、この組合せに関しては同一ブロック・1回戦での対戦があっても一切考慮しない。  
(8) 第3回戦については、第2回戦の成績に基づき、技術委員会において決定する。ただし、この組合せに関しては同一ブロック・前回戦での対戦があっても一切考慮しない。

※ シード順位に関しては、次の優先順位により決定する。

- ① チーム勝率
- ② 総個人勝率（総勝数÷総試合数）
- ③ 総突数率（総突数÷総被突数）
- ④ ①～③がすべて同じ場合は、1回戦組合せシード順位（含む抽選順位）の高い方を上位とする。

## 5 注意事項

- (1) 電気剣・ボディークード・メタルジャケット等は故障のないようによく整備し、試合前に必ず用具検査を行うこと。
- (2) 主催者の用意する「ゼッケン」をマスクに貼りつけて出場すること。なお、成年女子サーブルは後ろ足大腿部に貼りつけて出場すること。  
また、監督については、IDカードを着用すること。
- (3) 組合せ及び試合日程、時間、ピストの変更などDTからの連絡事項は、DT掲示板によって行う。（場内放送ともども十分注意すること。）
- (4) 競技開始時間が早くなることがあるので、選手は競技開始予定時間1時間前に会場に到着していること。
- (5) コールは、競技開始予定時間の30分前に行う。
- (6) 試合開始15分前までに、競技会場の選手待機所に試合のできる状態で待機すること。
- (7) 女子の場合は、Tシャツの上に強固な素材による「前胸部保護具」を着用し、さらに胸当て（布製プロテクター）を着用すること。  
男子の場合は、「前胸部保護具」の使用は認めるが、その場合も保護具の上に胸当て（布製プロテクター）を着用すること。
- (8) 試合開始前、ピストにて審判員がユニフォームの点検を実施する。
- (9) 「メンバー票」提出後、試合が始まるまでの間は、競技会場の選手待機所で待機すること。
- (10) 競技会場フロア及びピスト選手席には、当該種目の選手・監督以外は入場できない。
- (11) 出場都道府県のチーム名プレートはピスト委員が掲示する。
- (12) ピスト選手席へのフェンシングバックの持ち込みは認めない。フェンシングバック等は、選手控所・荷物置場に整理整頓して置くこと。また、貴重品等は各自で管理すること。
- (13) 競技会場及びアップ場を直接剣で突いたり、剣やマスクを投げつけるなどフロアを傷つける行為は絶対にしてはいけないこと。

(14) 競技会場及びアップ場では、原則飲食禁止。ただし、試合や練習時の水分補給については特別に許可する。